

A表現(器楽)ア、イ(ア)、ウ(ア)
B器楽ア(ア)、ウ(ア)(イ)

音楽IレポートNo.		組曲《動物の謝肉祭》: 音楽の要素とイメージをつなげよう		教科書 『MOUSA1』	P.64 天国と地獄 P.132 音楽を織りなすさまざまな要素 P.133 組曲《動物の謝肉祭》
提出日	月 日	氏名		得点	評価

① 「組曲《動物の謝肉祭》(教P.133)を読み、次の文章を完成させよう。[知]

(各2点=16点)

組曲《動物の謝肉祭》は、(ア)の作曲家サン＝サーンスによって、彼の友人が主催するマルディ・グラ(謝肉祭の最終日)の(イ)で私的に楽しむためにつくられた。

この組曲は、(ウ)の短い曲で構成され、さまざまな(エ)が描かれている。これらの作品には、既存のフレーズを(オ)として用いるなど、ユニークな表現が見られる。サン＝サーンスの意向により、彼の生前は第13曲《(カ)》を除いて出版と演奏が禁じられていたが、1922年に初めて公場で演奏されたのをきっかけに、広く知られるようになった。

2台の(キ)を中心とし、フルートやクラリネット、鉄琴、木琴、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで演奏される。また、曲ごとに楽器の(ク)は異なる。

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	

② 組曲《動物の謝肉祭》を鑑賞しよう。[主]

1) 組曲を聴き、それぞれの曲の特徴やよさについて書こう。[思・判・表/主]

「音楽を織りなすさまざまな要素」(教P.132)を参考にし、それぞれのタイトルになっている動物などを表現するために、音楽の要素がどのように関わっているのか考えて書こう。

(各4点=56点)

タイトル	曲の特徴(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成など)やよさ
1. 序奏と堂々たるライオンの行進	
2. 雌鶏と雄鶏	
3. らば	
4. 亀	
5. 象	
6. カンガルー	
7. 水族館	
8. 耳の長い紳士	

タイトル	曲の特徴(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成など)やよさ
9. 森の奥のかっこう	
10. 大きな鳥籠	
11. ピアニスト	
12. 化石	
13. 白鳥	
14. 終曲	

2) 気に入った曲を選び、その特徴や感じたこと、気に入った理由などを文章にまとめよう。[思・判・表/主]

(12点)

③ 組曲《動物の謝肉祭》に用いられている旋律をリコーダーで演奏しよう。

1) 《天国と地獄》(教P.64)について、次の文章を完成させよう。[知]

(各2点=4点)

《天国と地獄》の旋律は、オフエンバックが作曲したオペレッタ《(ア)》の序曲からのものである。この旋律は、組曲《動物の謝肉祭》の第4曲《(イ)》に用いられている。

ア	
イ	

視聴や演奏をしたら、○で囲もう。
(6点)

2) 《天国と地獄》の旋律をリコーダーで演奏してみよう。[主]

二次元コードのピアノ伴奏に合わせて演奏しよう(テンポ設定は変更可能)。
また、(参考)組曲《動物の謝肉祭》より《亀》の伴奏にも合わせて演奏してみよう。

2)	
----	--

3) 《天国と地獄》(教P.64)の旋律を演奏した感想と、なぜ、第4曲《亀》ではゆっくりとしたテンポで演奏されるのか、考えたこと書こう。[思・判・表/主]

(6点)